



TotalFileGuardでの運用(社内)

TFGサーバで管理されている環境下での効果的な運用の説明です。様々な社内セキュリティ体制に応じた対応が可能です。

■ 承認申請

・承認によるファイルの復号許可

クライアントPC上の操作を管理者の承認を条件とすることが可能です。管理者により承認された申請は操作可能となり、拒否された操作は不可能となります。

・グループ管理者による管理

審査できる管理者は、情報管理責任者により指名されたグループ管理者として管理センターに登録できます。

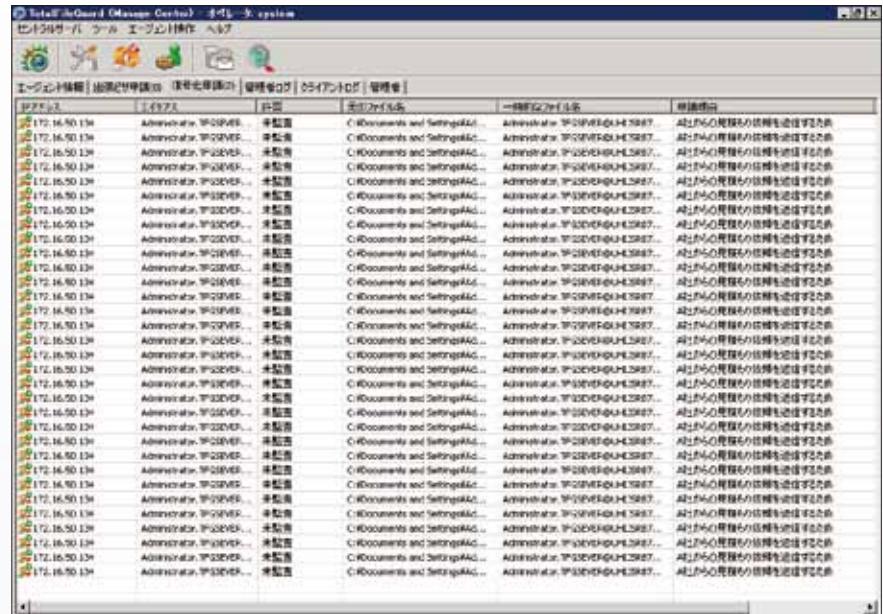
クライアントPCから出された申請は、クライアントPCを管理しているグループ管理者に届き判断を仰ぎます。

・ログの記録

クライアントPCからの申請内容、及びグループ管理者の判断はすべてログとして記録されます。ユーザの勝手な判断によるファイルの持ち出しを未然に防止し、不慮の情報流出や不要なファイルの持ち出しを防ぐことが可能です。

※承認申請を設定できる操作

- ・ファイルの復号化
- ・出張ビザの取得(次ページ参照)



■ ログ管理

・ログの取得内容

- ・管理者により指定されたファイルについて、インストール済みクライアントPC上での操作履歴を取得します。
- ・管理者が管理センター上で行った操作を余すところなく記録します。

※ TotalFileGuardでは、DBにMySQLを使用します。管理センター上からバックアップを実行することができます。
バックアップされたログはサーバ内に保存され、監査時に管理センター上で復元して閲覧することが可能です。

■ 印刷制御

・印刷制御の内容

- ・プリンタの使用を制限できます。プリンタを登録することで印刷可能なプリンタを指定できます。
- ・印刷面にウォーターマークを印刷することができます。

■ エージェントのリモート操作

・管理センターからクライアントPCのプログラムに対してリモートで修正・変更等を行うことが可能

- ・管理センターからクライアントPCのエージェントをアップデートすることができます。
- ・ポリシーを変更しクライアントPCへ反映させることができます。
- ・クライアントPCからエージェントのアンインストールをリモートで行うことができます。

■ プライベートモード・ビジネスモード

エージェントインストール時でも、暗号化をしないでファイル操作を行うことが可能なプライベートモードに切り替えることができます。プライベートモードの場合の動作は以下のようになります(通常時はビジネスモードです)。

	平文ファイル閲覧	ファイルの暗号化	暗号化ファイル閲覧
ビジネスモード(通常時)	×	○	○
プライベートモード	○	×	×

エージェントをインストールしたクライアントPCと、インストールしていないクライアントPCが混在している環境で、ファイルサーバ上の共有ファイル(平文)を操作するような場合には、プライベートモードに変更してから閲覧すると、暗号化されたことによる他者への影響が出ることもありません。



TotalFileGuardでは、管理区域外(社外)で暗号化ファイルを閲覧/修正/印刷等の操作を行う場合に、以下のような特殊機能があります。いずれも情報管理者の承認の上権限を付与されてから利用可能となります。

利用する情報の種類/重要度や、利用する環境、自社との関連/機密保持契約の有無等の様々な条件を踏まえて対応できる構成になっています。



■ 外部パートナーエージェント

お客様環境ではTFGサーバと接続することができないため、そのTFGで暗号化されたファイルの閲覧ができません。その場合にお客様へインストールして利用していただく専用クライアントプログラムです。業務委託等で頻繁に情報の提供や文書の交換が行われる場合、そのお客様にTFGエージェントをインストールしていただき利用します。

■ 特徴

このエージェントの特徴としてファイルの暗号化/復号化を行いません。ビジネスモード・プライベートモードの2種類のモードを使い分け、ファイルの閲覧を行います。

・ビジネスモード

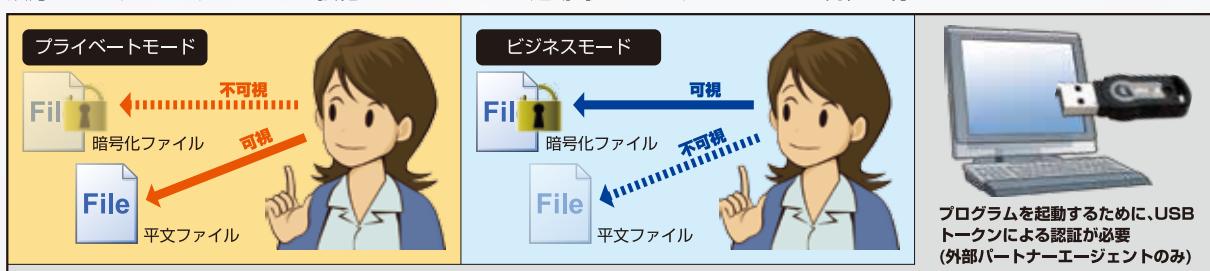
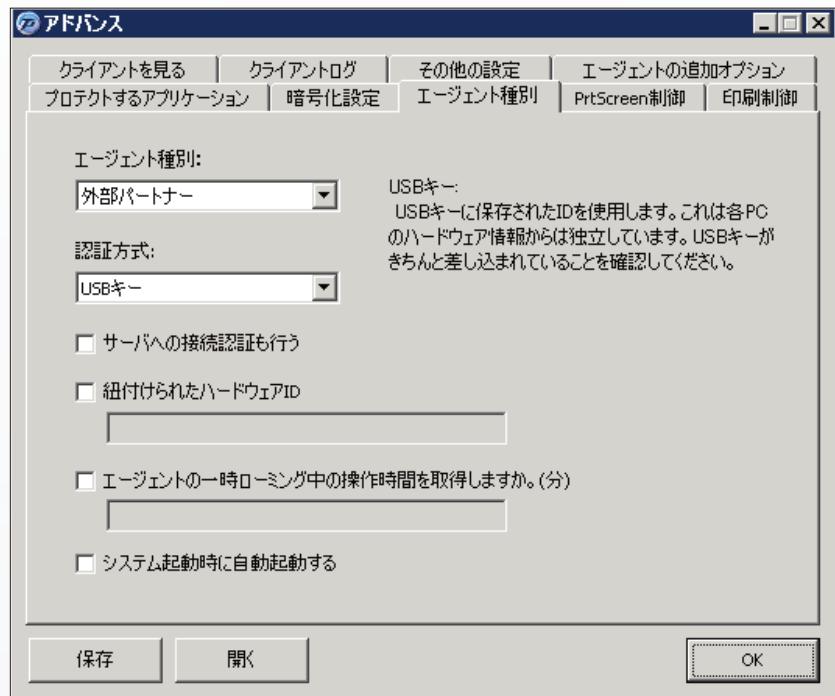
暗号化されたファイルしか閲覧できません。閲覧後もファイルは暗号化されたままになります。

・プライベートモード

平文ファイルしか閲覧できません。

また、ファイルの暗号化も行いません。

双方のモードで、セキュリティの強化のためプログラム起動時に、USBトークンによる認証を行います。



■ パスポート・出張ビザ申請

社員が出張・外出でインストール済みノートPCを持ち出すと、TFG管理サーバとの接続ができなくなりファイルの復号化が出来ずファイルの利用が不可能になります。

重要な商談やお客様先でのプレゼンテーション時にファイル利用ができないと業務に支障が発生するため、あらかじめ管理者から復号化の権限を付与してもらうための機能です。

	権限付与者	申請者	決定	決定材料
パスポート	管理者	上長	上長	業務内容(業務指示)
出張ビザ申請	管理者	本人	(審査する)上長	本人からの申請内容

■ 特徴

管理者が発行するキーファイルをノートPCにインストールする、あるいは申請した内容に管理者から許可が出た場合、TFGサーバとの接続が確立していない場合でも暗号化ファイルを復号化することができるようになります。

■ 相違点

業務上の指示で出張命令を出す場合⇒パスポートの利用

会社指示ではなく本人の希望で権限付与を求める場合⇒出張ビザ申請